



## あたらしい本



### 『天才の習慣』ライブ (カンゼン)

世界の天才80人の習慣 (ルーティン) = 日々の行動と考え方を紹介! 毎日同じことを繰り返すことが、才能が花開くきっかけになるかも。医学者の野口英世やフランス皇帝のナポレオン、パソコンを動かすための基盤となるシステムを開発したビル・ゲイツの習慣は「読書」と紹介されていますよ!



### 『国語の時間 学校の学びを社会で活かせ!』松井大助 (ペリカン社)

学校の教科の学習は社会に出てどのように役に立つのか。教科ごとに、どのような職業でどのように活かされているかを紹介。例えば…国語の力は作家や司書だけでなく、声優、ウェディングプランナー、スポーツ選手にも活かされている! シリーズで『数学の時間』もあり、今後もいろんな教科が少しずつ出版される予定です。



### 『学校では教えてくれない生活保護』雨宮処凛 (河出書房新社)

マイナスイメージを抱きがちな生活保護。だけど本来生活保護とは、どうにもならなくなったとき国が責任を持って面倒みますよ、という国の最後のセーフティネットであり、命に関わる大切な制度。どういう時に利用できるのか、子どもは高校・大学に行けるのか。生活保護の実態とノウハウが詰まった、知っておきたい入門書。



### 『昆虫の惑星』アンヌ・スヴェルトルップ=ティゲソン (KADOKAWA)

虫が苦手という人は多いけど、虫のお世話になっていない人は、地球に一人もいない! みんなが知らないところで黙々と仕事している昆虫たち。そんな昆虫たちの世界をのぞいてみよう。ノルウェーの女性昆虫学者が語る、不思議で風変わりな虫たちの物語。



『ドラゴンは爬虫類』川崎悟司 (大和書房)

ユニコーンはウマの仲間のようにだけど、実はウマのように走ることに特化したサイの仲間だった…!? ドラゴンや人魚、河童にアマビエ…伝説の生物が実在したら、どんな進化をするのか。まじめに、本当に存在するかもしれない、とおもえてくる1冊。

「言葉屋」シリーズ、久米絵美里 (朝日学生新聞社)



小5の詠子のおばあちゃんのお仕事は、町の小さな雑貨屋さん…と思いきや、本業は「言葉を口にする勇氣」と「言葉を口にしない勇氣」を提供するお店、言葉屋だった! 詠子はその夏、言珠職人の見習いとして、おばあちゃんの工房に入門する。

『私たちの世代は』瀬尾まいこ (文藝春秋)



感染症によって様々な制限がかかった不自由な小学生時代を送ったふたりの少女。冴はいじめにあい、心晴は不登校となり家に引きこもるようになった。それでも周りの人の支えがあり、23歳になったふたりが就職活動で偶然出会う。

『るろうにほん 熊本へ』佐藤健 (NHK出版)



俳優の佐藤健が、2016年の熊本地震後に県内各地を訪ね、魅力的な人・場所・食べ物に出会う。忘れてはいけない震災の記録、守るべき熊本の文化、そして未来。みんなの住む熊本の魅力を改めて感じよう。  
※2017年発行の本の新装版。

ぶんるい 分類	しよめい 書名	ちよしゃ かんしゆびや とう 著者・監修者等
ちしき 知識	こども調べ方教室	もぎ ひであき 茂木 秀昭
すうがく 数学	み だけり かい かそく とくてん すうがくこうしきず かん 見るだけで理解が加速する 得点アップ 数学公式図鑑	あきとんとん
しごと	りけい しょくば か がく そう さけんきゆうじよ 理系の職場① 科学捜査研究所のしごと	こどもくらぶ
スポーツ	バスケットボール解析図鑑	さとう けんじ 佐藤 賢次
しょうせつ 小説	じ ものがたり し 54字の物語 史	うじた ゆうすけ 氏田 雄介
	ストロベリームーン	あくたがわ 芥川 なお
	この夏の星を見る	つじむら みつき 辻村 深月
えほん 絵本	そら ももたろう 空からのぞいた桃太郎	かげやま とおる 影山 徹
	メメントモリ	ヨシタケ シンスケ